

駒澤大学仏教学会会則

総則

第一条 本会は、駒澤大学仏教学会と称し、事務所を駒澤大学仏教学部研究室に置く。

目的及び事業

第二条 本会は、仏教の研究を通じて会員相互の親睦を図り、仏教学部の発展向上に寄与することを目的とする。

第三条 本会は、第二条の目的達成のために、次の事業を行なう。

- (1)研究会及び講演会
- (2)会誌の発行及び会員等への配布
- (3)ゼミナール、その他必要なる事業

会員

第四条 本会の目的に賛同し会費を納入する者を会員とする。

2 本学仏教学部専任教員を正会員、

大学院仏教学専攻生及び仏教学部生を准会員、その他の者を賛助会員とする。

第五条 会費を三年度にわたって滞納したときは、会員の資格を失うものとする。

役員及び役員会

第六条 本会を運営するために、会長一名、副会長二名、幹事若干名、監事二名の役員を置く。

2 会長は、仏教学部長とし、副会長は、学科主任とする。

3 幹事は、正会員のうちより会長が指名し、総会の承認を得るものとする。

4 監事は、総会で選出する。

第七条 会長、副会長の任期は、学部長、学科主任の在任期間とする。幹事、

監事の任期は一ヶ年（四月一日より翌年三月三十一日）とする。但し再任は妨げない。

第八条 役員は、次の職務を遂行するも

のとする。

2 会長は、本会の会務全般を統括し、本会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、その職務を代行する。

4 幹事は、本会の事業の企画運営及び会計に関する事務を行なう。

5 監事は、会計の監査を行なう。役員会は、会長が必要に応じこれを招集する。

総会

第十条 総会は、定例総会、臨時総会とし、正会員をもって構成する。

2 定例総会は、本会の最高決定機関とし、年一回年度始めに、会長がこれを招集し、次の事項を審議決定する。

- (1)幹事の承認
- (2)監事の選出
- (3)事業計画の承認
- (4)予算及び決算報告の承認

- (5) 当該年度会誌寄贈者の選定
- (6) その他必要と認められる事項

3 臨時総会は、次のとき会長がこれを招集しなければならない。

- (1) 役員が必要と認めるとき

- (2) 正会員の三分の一以上の要請があったとき

第十一条 総会は、正会員の過半数の出席をもって成立し、出席者の三分の二をもって決議する。

会計

第十二条 本会の会計は、会費、助成金、その他をもってこれにあてる。

- 2 会費は、正会員は、年額三千元、準会員及び賛助会員は年額二千元とする。

- 3 会計年度は、四月一日より翌年三月三十一日までとする。会費は、原則として、会計年度開始より五月末日までに納入しなければならない。

- 4 会計年度毎に監事の監査を受け、

決算報告を行なう。

第十三条 会則の改廃は、総会において決定する。

附則

本会則は、昭和四十四年九月十二日より施行する。

附則

本会則は、昭和五十七年四月十九日より施行する。

附則

本会則は、昭和五十九年十一月十二日より施行する。

附則

本会則は、平成七年一月二十三日より施行する。

附則

本会則は、平成十六年四月一日より施行する。